

登録コード	TSJ06500	開講年度	2026				
授業科目	並列分散システム演習 I				担当教員	和崎 克己	
英文授業名	Parallel Distributed Systems Tutorial 1				副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	情報数理・融合システム分野 1年生	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	・分散システム技術の最新のトピックスに関する論文・書籍を題材に、受講者自らが開発を行い、各技術・手法の数理的基礎を理解できるようになる。	
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ, 2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	・分散システム技術の最新のトピックスに関する論文・書籍を題材に、受講者自らが開発を行い、各技術・手法の数理的基礎を理解できるようになる。	
(2)授業の概要	研究課題に直接関係する分野のセミナー形式の演習で実施する。所属学生を中心とした、研究に関する討議を行う。必要に応じて、国内外の共同関連研究者、学部学生等を交えた合同セミナーを共催で行う。 分散システム技術の最新のトピックスに関する、論文、書籍を題材に、受講者自らが開発を行い、各技術・手法の数理的基礎を理解するとともに、その内容を分かりやすくプレゼンテーションし、技術・手法の特長、限界等について議論を行う。						
(3)授業計画	※以下のテーマについて各2回実施する。 1. 並列分散システムセミナー1（演習テーマ1） 2. 並列分散システムセミナー2（演習テーマ2） 3. 並列分散システムセミナー3（演習テーマ3） 4. 並列分散システムセミナー4（演習テーマ4） 5. 並列分散システムセミナー5（演習テーマ5） 6. 並列分散システムセミナー6（演習テーマ6） 7. 研究発表会						
(4)成績評価の方法	受講者が作成するプロダクトおよびそのプレゼンテーションの内容（技術・手法の数理的基礎の理解の妥当性、評価の妥当性、研究実施等）に基づいて総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	受講者毎のプロダクトの作成を事前に行い、発表内容のアブストラクトとプレゼンテーションの準備を事前に行う。ディスカッション内容（技術・手法の改良、評価の妥当性や問題点の指摘等）に基づいた纏めを事後に行う。						
(7)履修上の注意	指導教員から提示される授業webページは逐次更新されるので注意して見ておくこと。						
(8)質問,相談への対応	質問は原則授業時間中に聞くのが望ましい。不在の場合は電子掲示板やメール・メーリングリストを用いて常時行う。						
(9)その他							
【教科書】	・指定しない						
【参考書】	・指導教員から随時提示提供される（Web、電子メール添付ファイルを含む）						